

# 高梁ふるさとづくり功劳賞

地域の特性を生かし、魅力あふれるふるさとづくりに意欲的に取り組んでいる個人・団体をたたえる、高梁ふるさとづくり功劳賞の表彰式が2月25日に総合文化会館で行われました。

■問い合わせ 秘書政策課企画係 ☎21-0208

まつまえ としひろ  
松前 俊洋さん  
(79歳・落合町阿部)



たかはし フィルム・  
コミッション



会長の石井雅之さん

岡山県高梁日新  
高校硬式野球部



部長の辻田浩一さん(右)とキャプテンの榎村裕之さん

郷土の歴史や文化財を学ぶイベントの講師や広報紙での「地名のゆかり」の紹介、ケーブルテレビ番組への出演など、郷土史家として多方面で活躍。子どもからお年寄りまでが地元を知り、大切にすることを、郷土の歴史を通じて地域づくり、まちづくりに尽力されています。

平成16年9月に岡山県で3番目、民間主導型としては県内初として設立。市と共同で数多くの映画・ドラマのロケを高梁市に誘致しました。市民エキストラの活用やロケ地バスツアー等、住民参加型の地域活性化活動を展開することにより、観光振興や地域の活性化に尽力されています。

平成15年の創部以来、「応援への感謝の気持ちを込め、地域に貢献したい」との思いから、清掃活動を継続して行い、地域の環境美化・保全に取り組んでいます。平成20年の第90回全国高等学校野球選手権記念大会岡山大会では、ベスト8に入るなどの活躍をしています。

# 方谷賞

市内の高等学校や大学等で学び、在学中に学業や文化・スポーツ活動、ボランティア活動、国際交流に積極的に取り組み、その活動が優秀と認められた学生、団体に贈る方谷賞の受賞者が決定しました。

■問い合わせ 秘書政策課秘書係 ☎21-0201



いしむら みちまさ  
石村 理将さん (高倉町大瀬八長) 宇治高等学校

こんどう みつる  
近藤 充さん (有漢町上有漢) 松山高等学校

こん たかあき  
昆 堯明さん (上谷町) 高梁高等学校

わたなべ りな  
渡辺 莉奈さん (成羽町上日名) 高梁城南高等学校

岡山県高梁日新高等学校 女子サッカー部

やまもと さなえ  
山本 早苗さん (新見市) 順正高等看護福祉専門学校

まつし まりな  
松島 莉那さん (岡山市) 吉備国際大学短期大学部

にしかわ あすか  
西川 明花さん (川端町) 吉備国際大学

ちやう せん  
張 茜さん (中国出身) 吉備国際大学

# 赤木五郎賞

保健医療・福祉・環境分野で功績のあった個人・団体を顕彰する赤木五郎賞の贈呈式が、2月17日に高梁国際ホテルで行われました。

■問い合わせ 健康づくり課 ☎21-0267

## 《保健医療分野》

たにもと しゅうじ  
谷本 秀二さん  
(72歳・成羽町下原)



昭和52年から長年にわたり、市内の整形外科病院の副院長として、地域医療の第一線で活躍しています。高齢化率の高い当地での整形外科医としての役割は大きく、運動器リハビリテーションによる日常生活への復帰に高い実績を上げるなど、地域保健医療の充実発展に尽力されています。

## 《福祉分野》

みやけ ともこ  
三宅 智子さん  
(72歳・備中町布賀)



平成10年に備中町社会福祉協議会理事に就任以来、長年にわたり社会福祉の推進に努め、地域の一人暮らし老人等の交流を図っています。地域住民が安心して暮らせる町を目指し、ボランティア活動や地域の福祉行事に参加協力するなど、地域福祉の充実に貢献しています。

## 《保健医療分野》

みむら やすなが  
三村 恭永さん  
(72歳・巨瀬町)



平成9年に郷里の自院を継承して以来、長年にわたり医療に従事しながら地域の健康教室、各種検診、予防接種等に協力するほか、要介護認定審査会業務など多方面にわたり活躍しています。脳神経外科医として高齢者のリハビリテーションにも積極的に関わり、地域保健医療の充実発展に貢献しています。

## 《環境分野》

とくもり かつぞう  
徳森 勝造さん  
(80歳・成羽町成羽)



平成12年に成羽町環境衛生協議会理事に就任以来、長年にわたり公衆衛生の向上に努め、平成21年に高梁市環境衛生協議会長に就任後は、組織育成、生活環境の改善に向けた事業を推進しました。地域のリーダーとして環境美化活動に積極的に取り組むなど、環境衛生の充実に尽力されています。

## 地域おこし協力隊員 新隊員を紹介します



はせがわ たつひと  
長谷川 竜人さん  
(26歳・宇治町宇治)

「地域の皆さんに温かく迎えていただきました。声をしっかりと聞いて、何ができるかを探しながら頑張っています。民話を集めて本にまとめてみたい」と力を込めます。長谷川さんは、東京都江戸川区から移住。宇治・松原地域イベントの企画などに積極的に参加し、地域の活性化を目指します。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的にした国の制度。現在、川上地域で長野エドウィン・タケルさん(35)、成羽地域で佐藤拓也さん(28)、有漢地域で坂本陽さん(24)の3人が活動中です。

■問い合わせ 定住対策課定住推進係 ☎21-02002